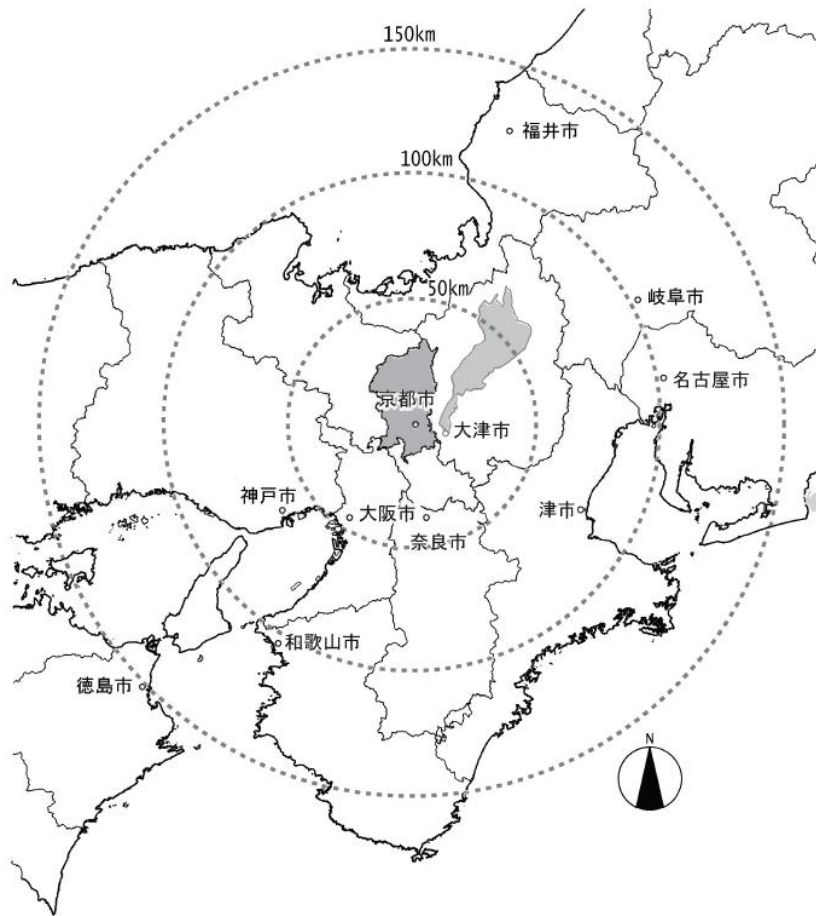


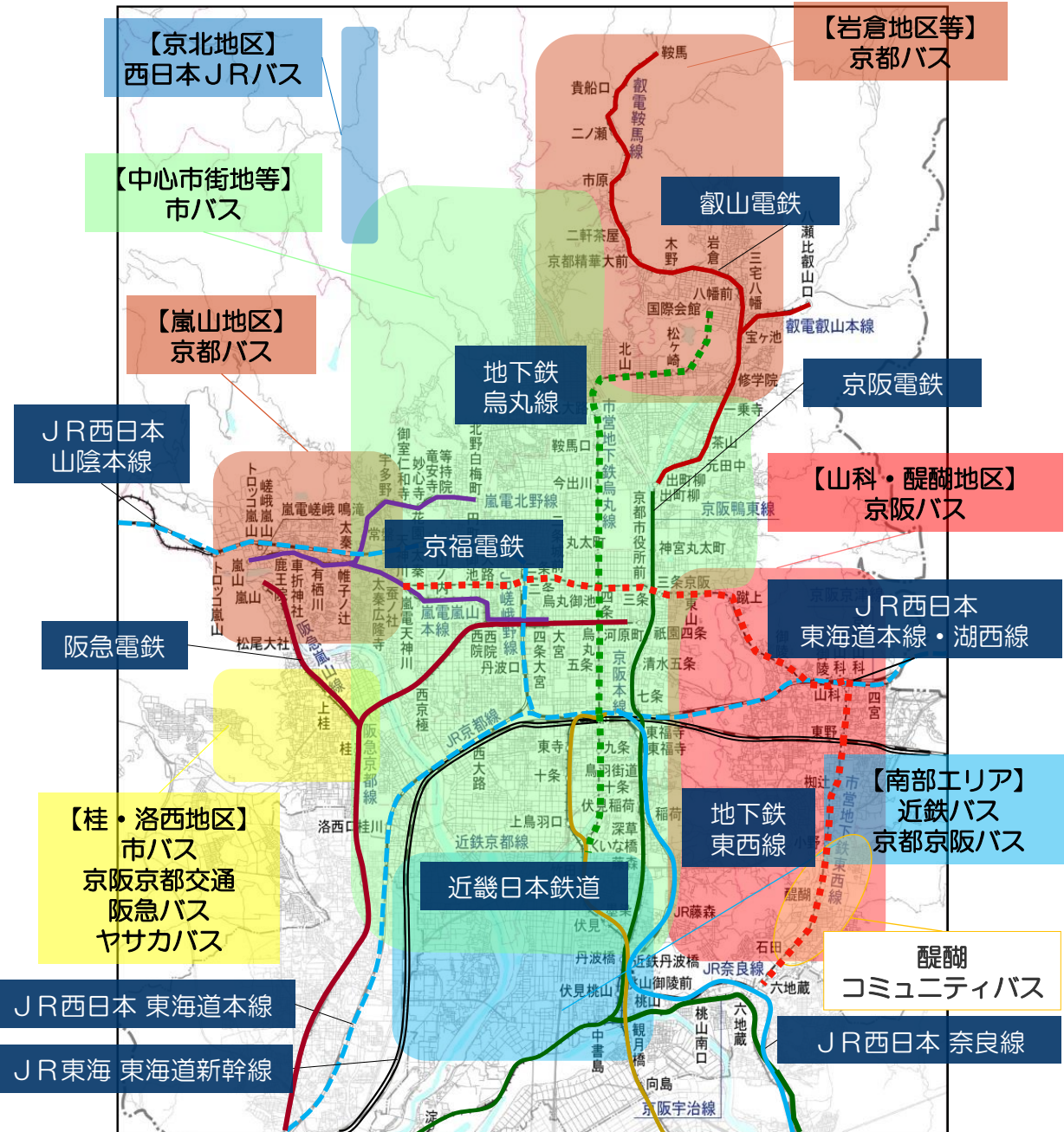
京都市における公共交通の概況

京都市の概況



- 京都市は、京都府の南部に位置し、京都盆地の北半分、山科盆地及び丹波高原の東辺の一部からなる内陸都市。
- 人口約146万人を有する政令指定都市で、京都府の人口の約半分を占める。
- 市域面積は、約827.8km²。(東西方向は約29km、南北方向は約49kmに及ぶ)

京都市の公共交通ネットワーク



鉄道の現状

8つの鉄道事業者が運行
(都市間交通5社，都市内交通3社)



◆鉄道ネットワーク全体としての
の利便性向上のためには，事業者
間の更なる連携強化が重要

バス交通の現状

市バス及び主要民営バス8社に
加え，醍醐コミュニティバス等
が運行



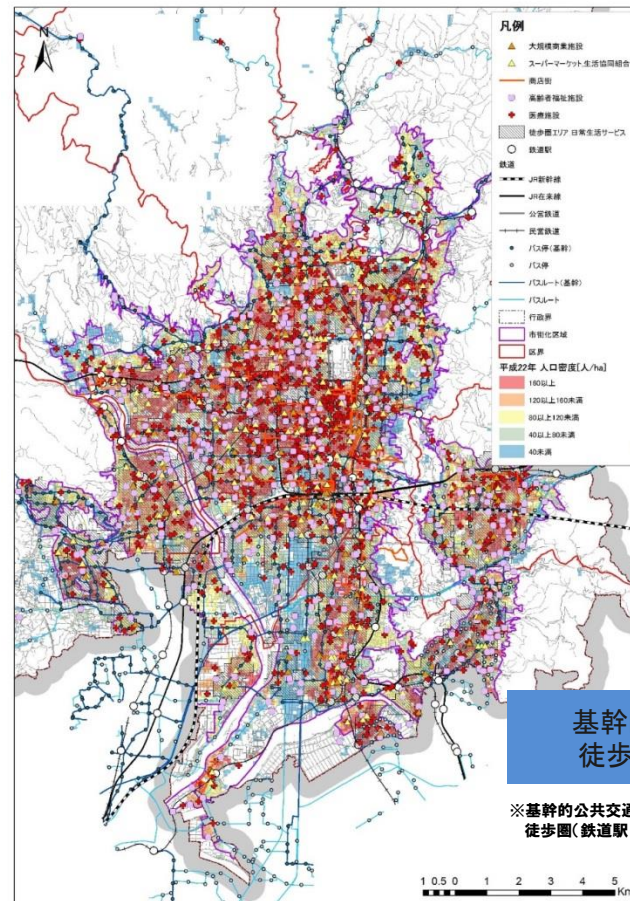
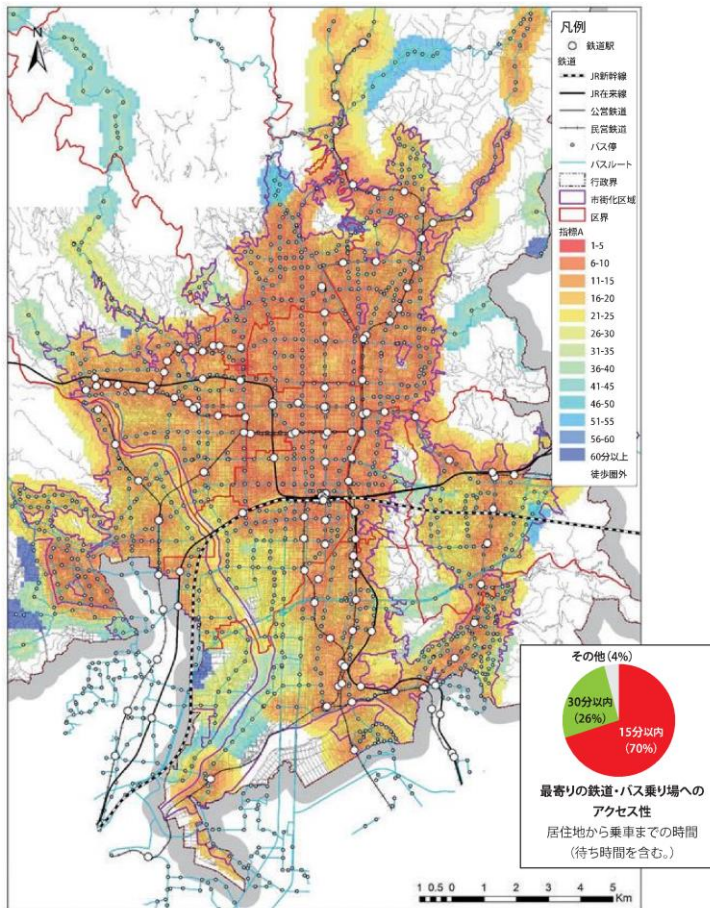
◆利用者の減少，運転士等の担い
手不足に加え，コロナ禍により厳
しい経営環境

⇒バス事業者間，バスと鉄道との
更なる連携も必要

◆山間部をはじめとする地域で公
共交通の利用者が減少傾向

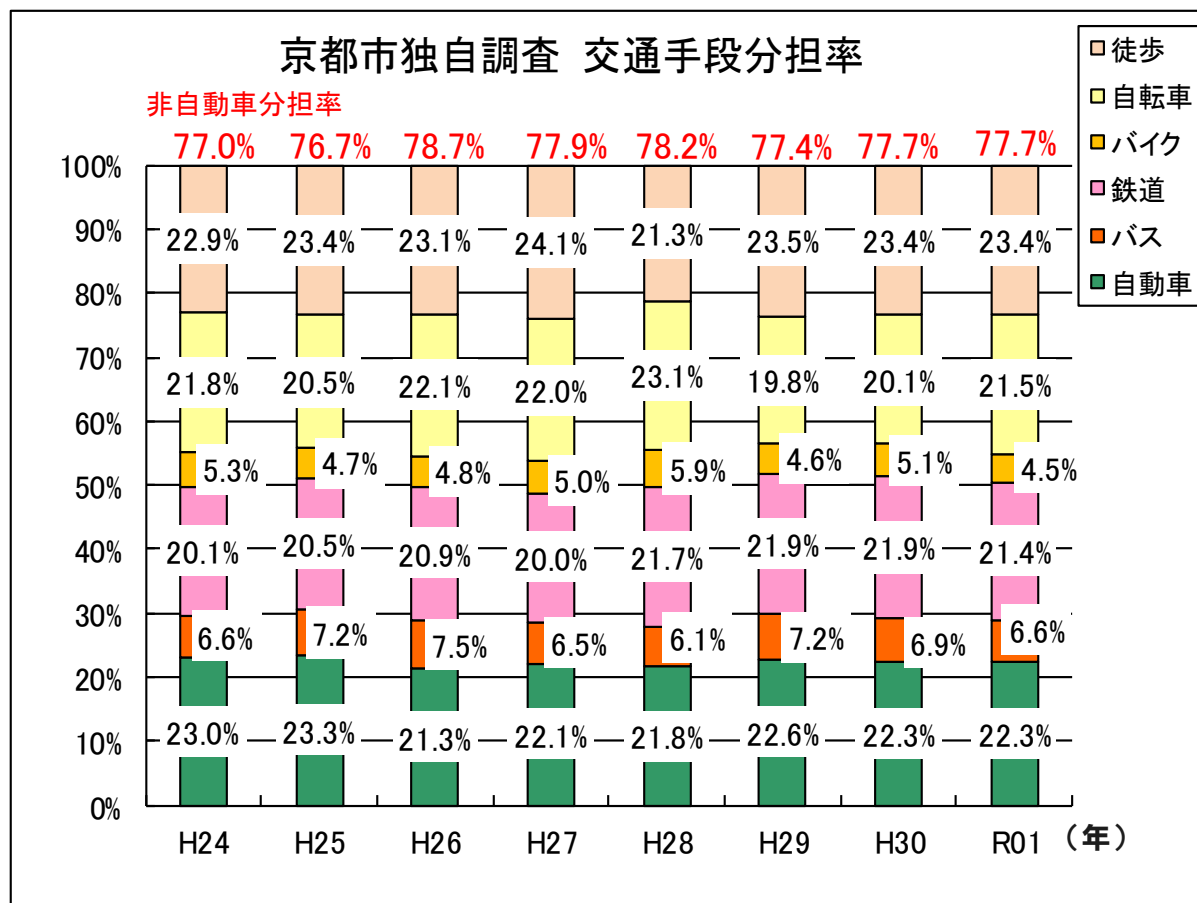
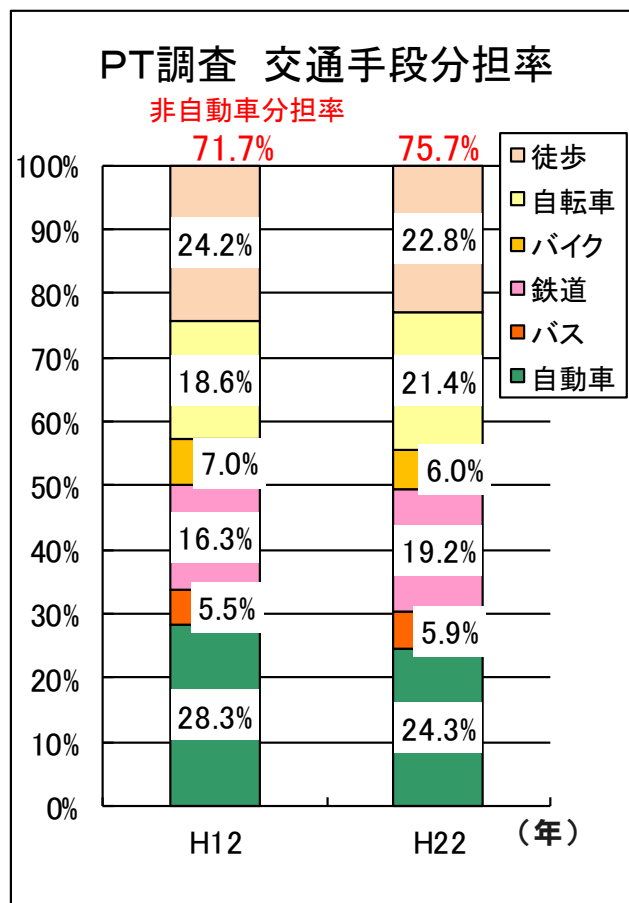
公共交通ネットワークの状況

- ・居住地から最寄りの鉄道駅・バス停へ到達し、待ち時間も含めて乗車するまでに要する時間は、居住人口の70%が15分以内、96%が30分以内となっている。
- ・基幹的交通路線（1日30本以上の鉄道・バス路線）の徒歩圏人口カバー率も92%となっている。



京都市における交通手段分担率

- 非自動車分担率は、京都市独自調査の結果、令和元年は約78%と、目標値（80%超）に近い値ではあるものの、近年は横ばいで推移している。

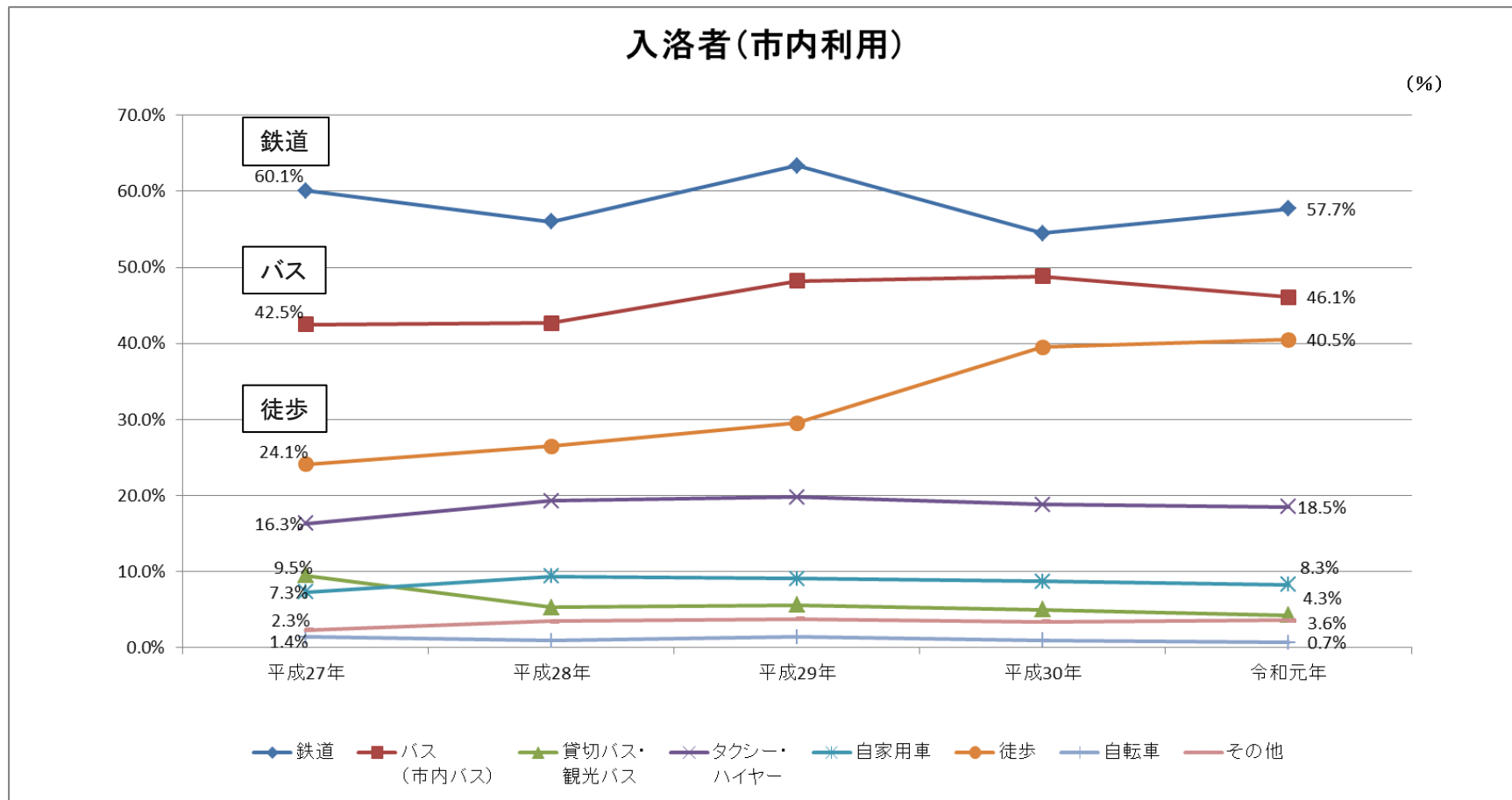


近畿圏PT調査（H22年）、京阪神都市圏PT調査（H12年）は交通計画、防災計画等の基礎資料とすることを目的に、10年毎に実施。
H22の対象者数は約70万人（非外出者を含む）

京都市独自調査は、数値目標である京都市の交通手段分担率をモニタリングすることを目的に、京都市民を対象にアンケート調査（対象者数：約1千人（外出者のみ））をH24から毎年実施。交通手段分担率を推計する際には、京都市民以外の京都市の交通はPT調査と同じとしている
※「その他」をグラフから除外していること及び四捨五入により合計が100%にならない場合がある

入洛者の市内利用交通機関割合（日本人）

- ・平成27年と令和元年を比較すると、徒歩で移動している割合が約1.5倍に増加している。
- ・鉄道に関しては約60%，市バスに関しては約45%で推移している。



資料：：京都観光総合調査（H27～）

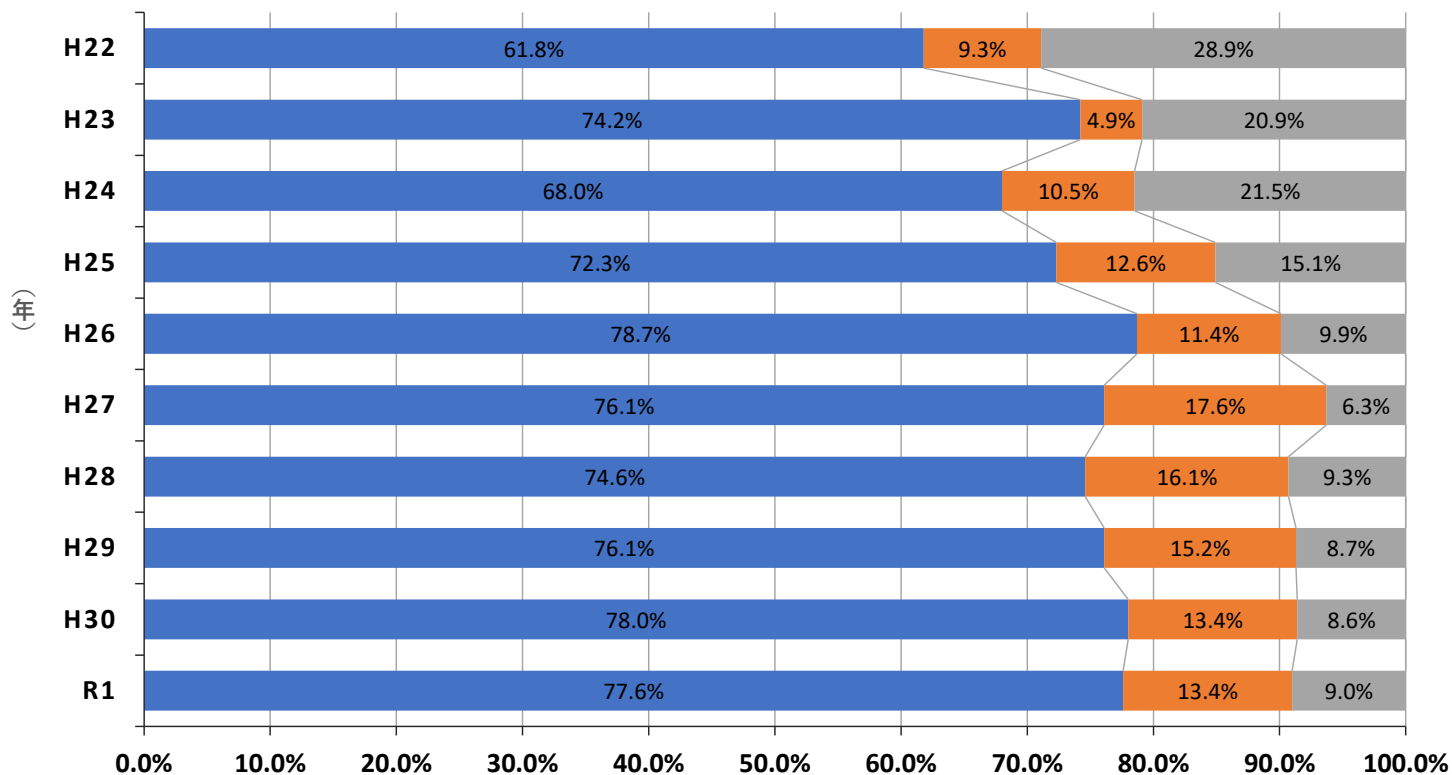
※複数回答のため、合計が100%にならない。 5

入洛利用交通機関割合（日本人）

- ・ 観光客の入洛時の交通手段について、車（マイカー）の利用割合が、平成22年の約29%から令和元年は9%にまで大きく低下している。
- ・ 一方、公共交通機関（電車・バス）の比率は経年的に上昇傾向にあり、平成26年以降、90%を超える状況が続いている。

観光客の入洛交通手段（京都市）

■ 鉄道 ■ バス ■ 車（マイカー）



※ 京都市内の主要な鉄道駅、観光駐車場等、全13箇所において、調査時期（年4回）、曜日、時間を概ね合わせたうえで無作為に調査対象者を抽出し、郵送回答の方法で調査を実施

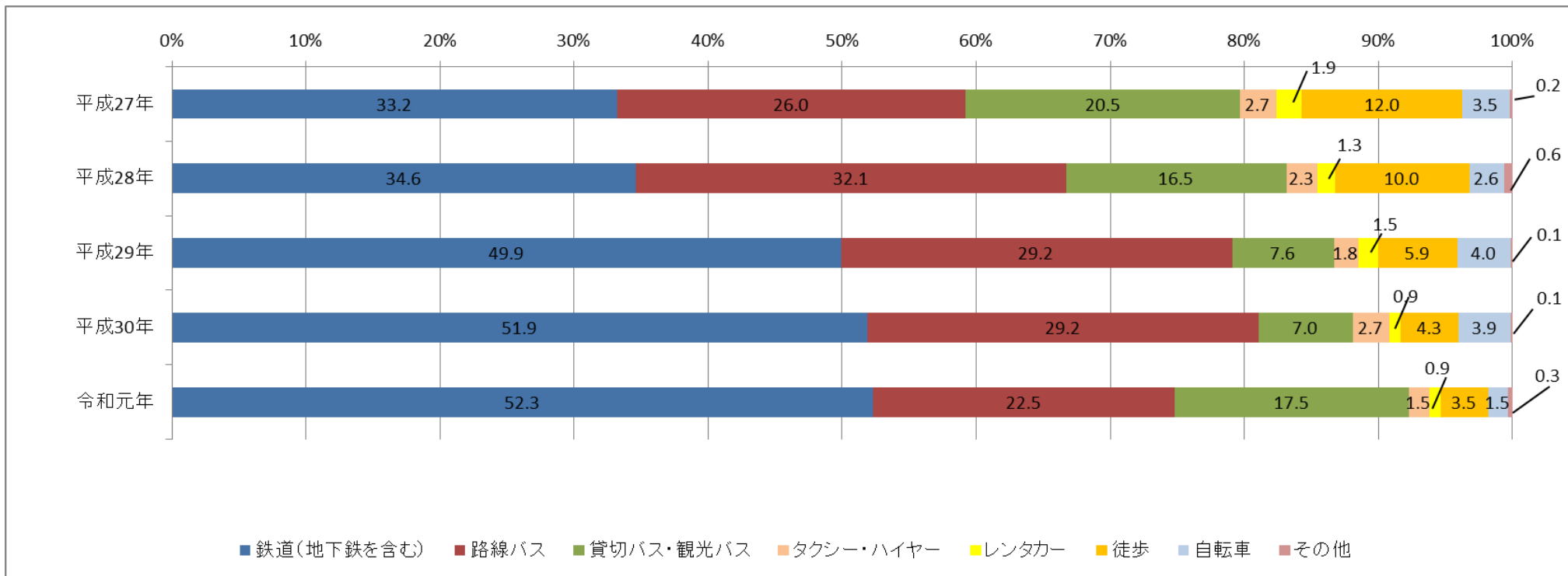
資料：

京都市観光調査年報（H22）

京都観光総合調査（H23～）

入洛者の市内利用交通機関割合（外国人）

- ・平成27年と令和元年を比較すると、鉄道、路線バスで移動している割合が約1.3倍に増加している。



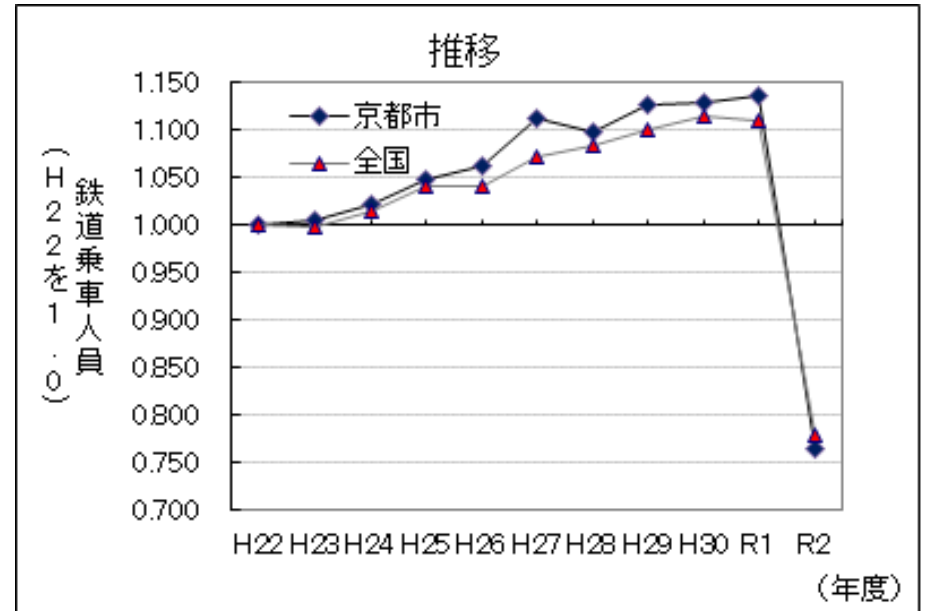
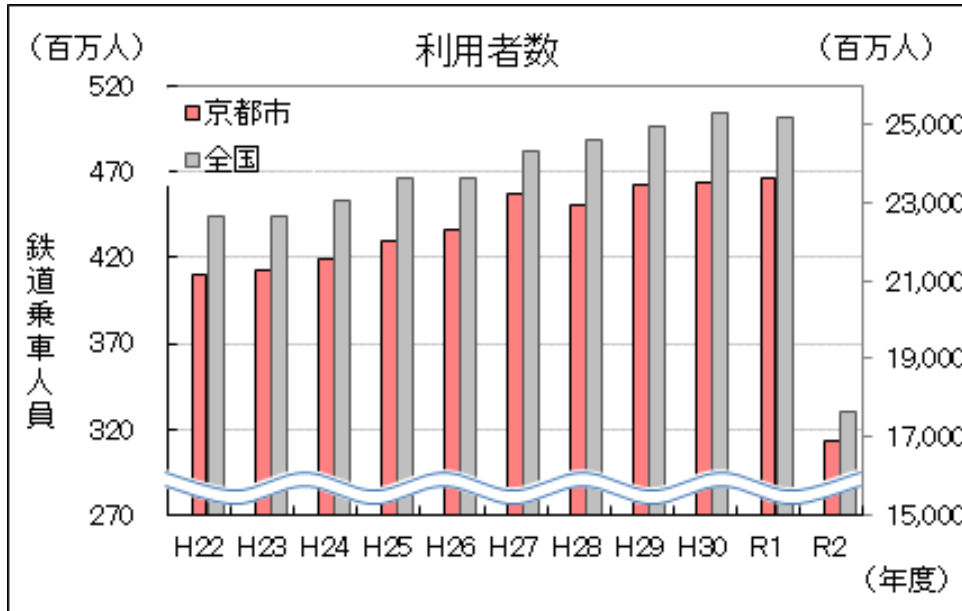
資料:

京都観光総合調査 (H27~)

主に利用した交通機関を一つ選択

鉄道の利用者数

- ・ 鉄道の利用者数は、コロナ禍までは経年的に増加傾向にあった。
- ・ 平成22年度と令和元年度とを比較すると、京都市は約14%増加しており、全国平均と比べて高い水準で推移していた。

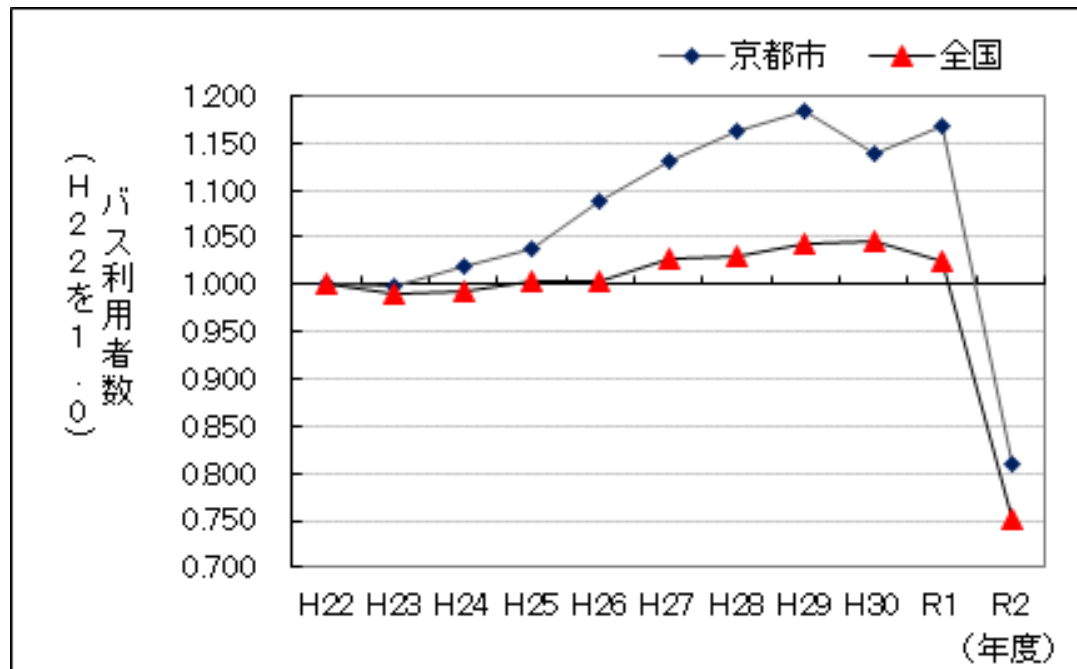
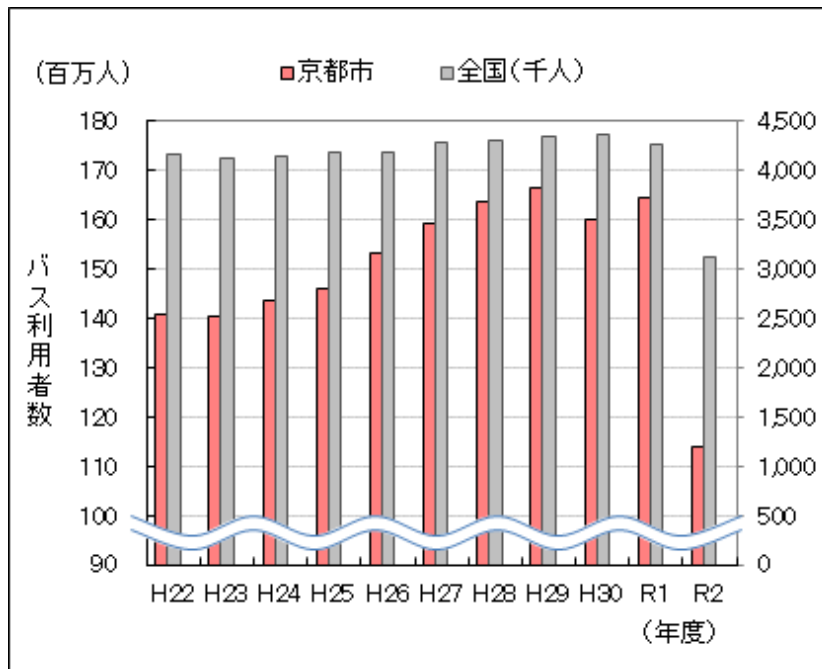


- ※ 平成28年度は、一部事業者の算定方法に変更があった。
- ※ 利用者数については、各鉄道駅の合計乗車数から算出しているため、市民・観光客の区別ができない。
- ※ 令和元年度より、梅小路京都西駅が開通し、利用者数の数値に加算している。

京都市調べ
 <全国> 出典：鉄道輸送統計年報

バスの利用者数

- ・バスの利用者数は、コロナ禍までは経年的に増加傾向にあった。
- ・平成22年度と令和元年度とを比較すると、京都市は約17%増加していた。



- ※ 利用者数については、系統別合計利用者数から算出しているため、市民・観光客の区別ができない。
- ※ 令和元年度の全国バス利用者数については現在未集計。

京都市調べ
 <全国> 出典：国土交通省資料